



山口県立山口図書館ニュース

～開設120周年・建築50周年記念版～

山口県立山口図書館は、1903年（明治36年）に開設しました。2023年（令和5年）の今年、開設120年の節目を迎えます。また、現在の建物は、1973年（昭和48年）の開館から今年で50年を迎えます。

このことを記念して、7月1日から12月27日までの半年間、記念事業を実施しています。

記念行事

●記念ミニ講演会

「山口県文学のお宝資料」

日時：9月16日（土） 13:30～14:30

講師：加藤 禎行 氏（山口県立大学教授）

会場：第2研修室

定員：20名

申込方法：来館、電話、FAX、
またはメールにて、氏名と
御住所をお知らせください。

資料展示

●1階 明治維新人物ギャラリー

期間：7月1日（土）～9月28日（木）

さのともさぶろう こんどうきよし
「佐野友三郎と近藤清石」

●2階 資料展示コーナー

期間：7月1日（土）～9月28日（木）

「山口県立山口図書館の歴史 第1部」

今後の予定

●第25回 図書館振興県民のつどい

講演会「山口県の図書館の未来を語ろう」

開催予定日：10月22日（日）

募集開始：9月中旬

会場：レクチャールーム

●図書館竣工50周年記念行事

開催時期：11月中旬

ミニコラム

●2代目図書館と「郷土志料」

山口図書館は、明治36年の開設当初から、「防長叢書」という名称で郷土資料の発掘・収集に尽力していました。明治42年には、その名を「郷土志料」と改めた上、図書の分類にも「郷土志料」という項目を設け、体系的な収集に努めました。

昭和4年3月に開館した2代目の図書館には新たに「郷土志料室」と「郷土志料整理室」が設置され、郷土資料の閲覧や研究のための体制が整いました。

おがわごろう みさかけいじ みそのうおうすけ
また、小川五郎、三坂圭治、御園生翁甫等25名の研究者が発起人となり結成した団体「防長史談会」は、図書館内に事務所を置き、郷土史の研究に大きく貢献しました。

公式 Twitter 投稿中！

毎開館日につき1回、
お昼の12時に投稿しています。
(@ymgc_pref_lib)



Q

ご活用ください！ レファレンスサービス

A

山口図書館があなたの調べものをお手伝いします

山口図書館では、80万冊の資料と、職員のノウハウを駆使して、皆さまの調べものをお手伝いします。どうぞご利用ください。

レファレンスサービスとは？

皆さまから寄せられたさまざまな質問に、司書が図書館の資料を調査して、無料で回答します。

図書館資料・データベースなど、確実な情報源に基づいて回答します。

日常生活や仕事の課題、山口県に関すること、読書相談など、さまざまなことならお答えします。（病気の診断や法律相談など、専門知識が必要な事柄については回答を差し控えることがあります。）

電話やお手紙、当館のウェブサイトからも受け付けます。

調べものに役立つリーフレット を配布しています

あるテーマで調べものをするときに、最初に手に取ったらよい本や、調べ方のコツなどをまとめたリーフレット「調べ方案内」を無料配布しています。館内や、当館ウェブサイトで公開しています。

～ 主な調べ方案内 ～

山口県の地図を探す（改訂版）



先祖について調べる（武士編）



薬について調べる（改訂版）



中原中也について調べる



こんな質問に回答しました

山口図書館では、毎年、1,000件以上のお問合せに回答しています。回答の一部については、個人情報に配慮した上で、“レファレンス協同データベース”（国立国会図書館）で公開しています。

～ これまでの質問・回答の例 ～

1. ティッシュ箱から1枚とると次の1枚が顔を出すしくみ（箱の内部の構造）が図示された本はないか。



2. ナス科の植物「タマリコ」の育て方について、参考になる資料があるか。



3. 獅子舞か、お神楽の折り紙（できれば立体的なもの）の折り方が載っている資料はないか。

